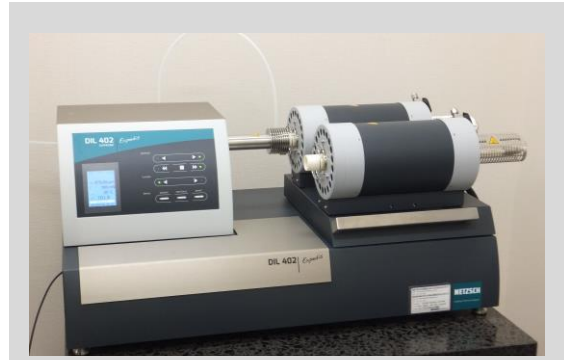


熱膨張計の更新のお知らせ

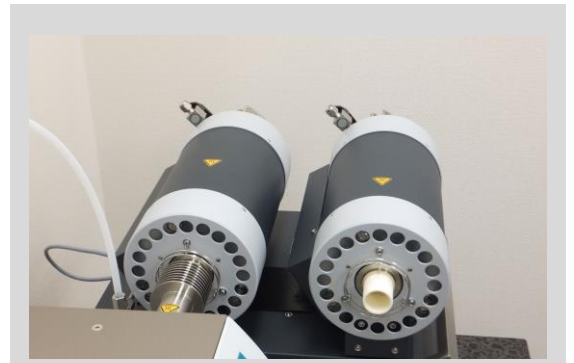
この度、ガラス製品試験センターでは、
熱膨張計の更新を行いました。
今回更新した熱膨張計は、現在使用している
NETZSCH 社製の DIL402C の後継機種である
DIL402 Expeditis Supreme (以下 DIL402SU)です。
DIL402SU の特徴は、下記の 2 点です。



1. 測定回数の向上

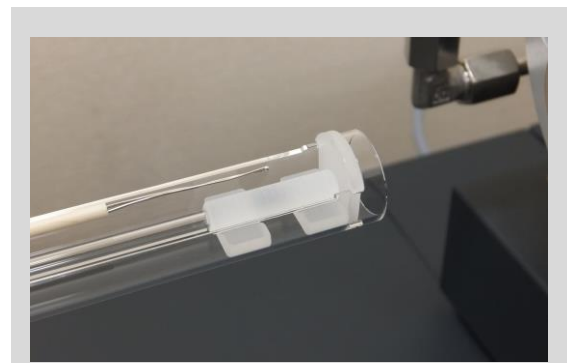
熱膨張計のデメリットであった測定後の加熱炉の冷却時間を、

- ・ダブルファーンレス仕様(加熱炉を 2 台搭載)したこと
 - ・空冷対応型の加熱炉を採用したこと
- により解決し、1 日の測定回数を増やしました。



2. 作業効率の向上

初期状態の試料の長さを自動的に検出する自動試料長検出機能を用いることで、精度良く、試料長を測定することが可能になりました。
また、試料を最適な位置に自動配置するマルチタッチ機能により、簡便に設置することが可能になりました。
これにより、作業効率が向上しました。



上記 2 点の特徴により、納期の短縮が可能となりました。

熱膨張計とは

熱膨張計は、耐熱ガラス※¹と表示するのに必要な、ガラスの種類※²を確認するための装置です。
また、DIL402C と同様、膨張曲線の延長曲線から読み取る転移点と降伏点の測定も可能です。

※¹ 耐熱ガラスと表示するには、平均線膨張係数測定以外に、熱衝撃試験の実施も必要となります。

詳細につきましては、お問い合わせ下さい。

※² ほうけい酸ガラスとは、平均線膨張係数の値が $65 \times 10^{-7} \text{ }^{\circ}\text{C}^{-1}$ 以下であることとなります。

なお、熱膨張計は、試験片※3で測定を行います。

ガラス製品試験センターでは、ご提供して頂く試料が試験片の状態でなくても、下記のような製品をご提供して頂ければ、所内で測定に必要な試験片を作製して、測定致します。

但し、一部対応できない製品もございます。詳細につきましては、お問い合わせ下さい。

※3 試験片とは、ひずみがなく、直径が約 5mm で長さが約 25mm の円柱、又は、一辺が約 5mm で長さが約 25mm の角柱のことです。



アクセス・お問い合わせ先

一般財団法人 日本文化用品安全試験所 大阪事業所 ガラス製品試験センター

住所 : 〒578-0921 大阪府東大阪市水走 3 丁目 6 番 14 号

電車 : 近鉄けいはんな線・吉田駅 5 番出口 徒歩 8 分

電話番号 : 072-968-2227(電話受付: 平日・月～金 9:00～17:00)

メール : glass-osaka@mgsi.or.jp

URL : www.mgsi.or.jp/ 又は「ブンカケン」・「MGSL」で検索、QR コード

